

Chocolate 通信 2012 5月号



順徳上卓

いかにして
契りおきけお
白菊を都忘れと
名づくるも憂し

K'mio talks

チャリティーコンサート ～ 楽しみ・楽しませるための取り組みを

6月24日のチャリティーコンサートの出演が決まりました。アマチュアであることの一番の醍醐味というか、目的に近いものだと思うのですが、先ずは「楽しむこと」だと思います。私もそれを主眼に練習、本番をやっているつもりです。しかし演奏会を催す、ということは「自分達が楽しむ」だけでなく、「いかにお客様に楽しんで頂けるか」が言うまでもないことですが、大事になってきます。チャリティーコンサートとは言え、立派な「コンサート」です。他の団体も出ます。そこで、私が私の考えを述べる、または押し付ける前に、皆さんお一人お一人で「どんな風にこのチャリティーコンサートに取り組むか」を考えてみて下さい。それが自分の前に続いている道になるように。

(Noboru Kamio)

アカペラに天の声を聴く？

今練習中の木下牧子さんの曲は全て無伴奏です。今まで組曲の中に無伴奏の曲が含まれていたことはありますが、全曲というのは初めてでしょう。12日の新都心女声・新都心男声合唱団の演奏会に行かれた方は、無伴奏の演奏の素晴らしさと難しさを実感されたと思います。無伴奏の合唱曲をアカペラと呼びますが、アカペラはもとも「ア・カペッラ」(聖堂で)と呼ばれ、バチカンが教会改革の一環として教会音楽を簡素化して生まれたのがアカペラ様式です。もともと伴奏の有無は関係なかったのですが、無伴奏の曲が多かったことからそのイメージが強くなり「アカペラ＝無伴奏」となったそうです。現在では教会音楽に関係なく独唱までアカペラと呼ぶようになっています。さてアカペラを美しく歌うには伴奏の助けがない分、難易度が高くなります。まず正確な音程が求められます。そして和音がハマれば膨らみ美しく響きますが、そうでなければ濁り痩せた貧しい響きになります。さらに音色、ブレス、歌い出しのタイミングもより精度を高めて揃えなければなりません。それには、よく聴き合うことが常に求められますし、聴き合って自らの声を全体に寄り添わせなければなりません。難しいですがそれが出来たときは、自らの歌声に天の声を聴くことが出来るかもしれません。

(佐々木 晋)



3月からピアノ伴奏をしてくださっている赤塚信子先生。容姿と同様シャープで端正なピアノ。自己紹介代わりに音楽への想いを寄せていただきました。



座右の銘は《成り行き任せ》

思い起こせば5才の頃、オルガン教室の前を通りかかり「私もやりたい!」と親に言った事、14才の時に桐朋の先生に替わって「必死でついて行こう!」と決意した事、限界を感じてピアノの蓋を開けなかった30才、半年間弾かなかった時の指先の鈍い感覚が哀しく、情けなく「もう、ピアノをやめるのはやめよう!」と心に誓った事、この3回以外、何が決めなければならない時は、いつも《成り行き任せ》で生きて来ました。と言っても、私は不器用な分練習好きなので、出来ない箇所は何度でも何日でもしつこく復習い(さらい)、そして表現したい想いも深く深く掘り下げます。そうすると、ある日突然、パッと扉が開いてお花畑が現れるように思い通りに出来るようになるのです。一所懸命に頑張っていれば、自分の守り神が最善の方向へ導いてくれる。これが私の《成り行き任せ》です。努力は裏切らない・努力は報われる。本番、皆で頑張りましょう。

(赤塚 伸子)



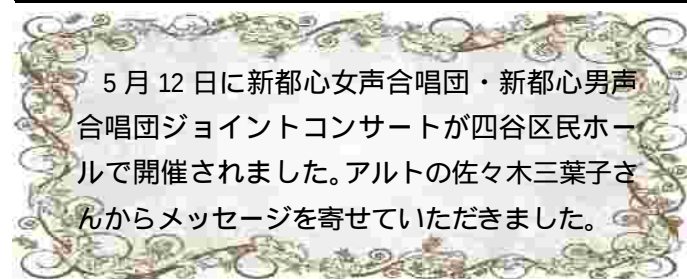
今年に入ってソプラノとテナーに若い人が入団してくださいました。自己紹介を兼ねて久々に はじめて感動した音楽 シリーズの復活です。

はじめて感動した音楽

イケメン「CNBLUE」にはまって ソプラノ 野呂瀬 悠季

彼らを知ったのは、今からちょうど一年前のことでした。たまたま再放送で見た『美男(イケメン)ですね』という韓国ドラマにはまったのがきっかけです。ジョン(チョン)・ヨンファ演じるシヌという役がとてもカッコ良くて、韓流通の友達に聞いたところ、実際は「CNBLUE」というバンドでボーカルとギターをやっているとのこと。早速YouTubeで見てみたら、彼らのルックスと音楽にまた一気にはまってしまいました。曲調はポップ、バラード、ロックテイストなど様々ですが、すべて良い曲です。あえておすすめを挙げると『ウェットリヤ』や『Love Girl』などです。しかも4ピースバンドなのですが、全員長身イケメンです。

CNBLUEに限らず韓国の曲は、意味がわからなくても一度聴いたらクセになる中毒性があると思います。彼らに少しでも興味を持った方は、ぜひ声掛けてください!CDお貸しします!



5月12日に新都心女声合唱団・新都心男声合唱団ジョイントコンサートが四谷区民ホールで開催されました。アルトの佐々木三葉子さんからメッセージを寄せていただきました。

幸せを感じた演奏会

新都心女声合唱団の皆さん“初演奏会”おめでとうございます!初々しい、清らかな歌声が素敵でした。新都心男声の皆さんはすでに定期演奏会も経ておられ“男声合唱”で鍛えてこられたのでしょう、繊細かつ

あの頃にタイムスリップ「聖者の行進」

テナー 水沼 一夫

私にとって印象深い曲は「聖者の行進」です。学生時代にニューオーリンズに留学していた時期があり、今でもトランペットの旋律を聞くと“あの頃、”にタイムスリップします。

ニューオーリンズはジャズの本場というより、音楽のメッカというくらいどこにいても何かしらの音楽が聞こえてくる町です。繁華街にはクラブやライブハウス、レストランが密集し、夜が更けるにつれ、喧騒と熱気を増していきます。あらゆる娯楽が詰まったエンターテインメントの楽園でした。メイン通りから徒歩数分のところには雄大なミシシッピ川が流れています。私は木製の桟橋や川べりに座り、大型タンカーや貨物船が行き交う光景を眺める時間が好きでした。何をすることもなく、いつまでも飽きることなく見つめていました。居心地がよかったのはほかに理由があります。川沿いの歩道では、名もなきミュージシャンが思い思いの楽器を奏で、とっておきの“野外ステージ、”を演出してくれていたのです。

そして、この陽気な町では今でも葬儀の時に「聖者の行進」が使われます。黒人特有の文化が根つき、どんな時でも前を向くことを忘れない米国南部の都(みやこ)。いつかまた訪れたいと思っています。

力強い歌声に聴き入りました。

そしてステージには流麗なピアノを奏でる赤塚先生と、いつも跳ねるように一心に指揮をしている神尾先生。皆さん生き生きとして輝いておられました。コーラスっていいなあ、幸せを感じた演奏会でした。

(佐々木 三葉子)

編集後記 2012.5.17

今回の『混声合唱による美空ひばり作品集 川の流れのように』は現在のショコラにぴったりの教材ではと思う。誰でもが知っている歌詞やメロディ。コーラスになって、四パートの掛け合いやハーモニーが実に心地よく気持ちが高揚する。歌い込みたい。(三葉)

逃げ腰、弱腰、及び腰、いずれも消極的な意味だ。腰が低い、腰を据える、こちらは概ね良い意味に使われる。さて五月晴れの12日、午前中ノルディックウォーキングなるものの講習に参加。後ろにストックをつく時にぐっと身体を前に押し出すのが基本。インストラクターの引き締まった腰に見惚れる。午後は新都心女声・新都心男声合唱団ジョイントコンサートを聴きに。「かごにのって」で駕籠を昇る女声陣の一人に目が留まる。美しい!“腰が入っている”この駕籠昇なら信頼出来そう。思いは熟練した職人の動作の美しさに及ぶ。これはどんな仕事にも共通する姿勢なのかも。肝心のコンサートだが歌、演出共に“はなまる”。(Kobo)